

研究所だより

第127号

令和元年 7月 31日発行

可児市教育委員会

可児市教育研究所

可児市広見1丁目5番地

TEL(0574)63-4841

e-mail :kyoikukenkyu@city.kani.lg.jp



笑顔の学校

想像力と創造力を

可児市 教育長 籠橋 義朗

「どんな鳥も想像力より高く飛べる鳥はいない。人間に与えられた能力のなかで、一番すばらしいものは想像力である。」と、かつて寺山修司は言った。

「10年後には現在の職業の半分は消滅する。」と喧伝されている。本当にそうだろうか。私たちはすでに多くの職業が消滅していった経験を持っている。私が生まれた家の近所にあった八百屋、駄菓子店、電気店、靴店、ふとん店、はぎれ屋、下駄屋、米屋、鍛冶屋は、すべて今はない。30年前の私の仕事は、すべて手書きで文書の中表は定規で罫線を書き、電卓で計算して作成した。また、公文書は手書きのものをタイプストに依頼して作成した。通信技術・情報技術では、用件を各学校に伝えるのに個別に電話をして調査した。その後、ワープロ、パソコンが一人一台となり、メール機能により一瞬で処理できるようになった。ポケベルからケイタイとなりスマホで画像まで共有できるようになった。また、インターネットで世界中の情報にアクセスできるようになった。この様に、私たちはすでに社会の激変、職業の激しい再編を経験してきた。ある意味、間はずっと社会の変化に順応してきた。激しい変化にも恐れることはないと言いたい。しかしここで思うのは、これだけ進歩して、便利になっているのに社会が劣化していると言われるのはどういうことだろうか。それは、人間が本来持っている他者を思う心、ふるさとへの愛着心、さらには最近話題となっている自尊心、意欲、忍耐力、コミュニケーション能力、回復力、創造

力、協調性、知的好奇心などの非認知能力が希薄化し、個人が社会から孤立化しつつあることから不安になるのだと思う。

私たちが若い頃よく聞いたフレーズに「明治は遠くなりけり」という言葉があった。昭和の世相を評価して気骨ある明治時代に對する大人のノスタルジーを感じたものである。私たちは戦後の高度成長期の昭和時代と、平和と自然災害の平成時代を生き、令和時代へと突入したが、そのうちに「昭和は遠くなりけり」と言われるだろう。第4次産業革命の時代に、これからの子どもたちには予測不能の社会が待っている。しかし私たちは自然とともにその恩恵を受けながら、時にはその猛威におびえながら長い歴史を繋いできた。そして国民主権、平和主義、基本的人権の尊重にたどり着いている。私には今後それ以上に進んだ時代を考えることはできない。もちろん私たちの目の前にいる子どもたちの中には第4次産業革命を牽引していく人間が出てくるだろう。この人たちを含めてこれからの時代を生き抜く人間に期待することは、長い歴史と科学を学んだ人格の完成である。そのもつとも大切な人格の基盤を教育する時期が義務教育期間と言えらるだろう。その基盤の上に立って、新しい時代を築いてもらいたい。

冒頭の寺山修司の「想像力」はジョン・レノンの「イマジン」と共通している。

学校所員会の今年度の活動について

●学校所員会

<テーマ>

「自ら考え、仲間と学び合い、表現する子の育成～協同学習の理念に基づいた授業づくりを通して～」

<研修計画>

回	月日	内 容
1	5/15	<研修> 「協同学習」の進め方
2	6/12	<研修、授業参観> 各グループでの役割分担
3	8/20	<授業研究構想の交流> 2つのグループに分かれて 研究授業の意見交流
4	9～12月	<授業実践・研究会> 2つのグループに分かれて 授業実践・分析
5	1/22	<実践交流会> グループ内交流
6	2/5	<実践発表> 発表会後、次年度に向けて

アドバイザー

倉知 雪春先生（愛知文教大学）

<メンバー>（敬称略）

学校名	氏 名	学校名	氏 名
今渡南小	安江 初美	桜ヶ丘小	志津 佑子
土田小	福原 滉基	今渡北小	長谷川 由奈
帷子小	大澤 拓也	兼山小	今井 翔太郎
春里小	河合 真由子	蘇南中	鈴木 尚弥
旭小	大西 初江	中部中	竹田 浩大
東明小	大澤 伸二	西可児中	河村 拓哉
広見小	金澤 菜摘	東可児中	日比野 佑希
南帷子小	菊池 由佳	広陵中	堀田 卓宏

今年度は、小学校グループと中学校グループに分かれて研究を進めていきます。

新学習指導要領で主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の視点が以下のように示されています。

- ① 学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもつて粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているかという視点
- ② 子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているかという視点
- ③ 習得・活用・探究という学び過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているかという視点。

これらの視点を基に、協同学習の授業実践を通じて、主体的・対話的で深い学びができる児童生徒を育成していくよう研究を進めていきます。



第1回は、倉知先生より、協同学習について研修を受けました。第2回では、先進的に協同学習の実践している小牧市立大城小学校にて授業参観を行いました。「一人残らず子どもの学ぶ権利を実現し、その学びの質を高めること」という公教員の責務を所員1人1人が実感し、目の前の児童生徒の実態を捉え、日々実践を積み重ねていく心構えを新たにしました。

育ちや学びがつながる・深まる

「可児市版接続期カリキュラム」の作成をめざして

子育て支援課 尾崎 和美

平成29年3月に公示された「小学校学習指導要領」の「第1章総則 第2教育課程の編成 4 学校段階等間の接続」という項目の中に、次のような記載があります。

(1) 幼児期の終わりに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。

また、平成30年4月から施行された「幼児連携型認定こども園教育・保育要領」「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」でも、幼児期の教育が、その後の小学校教育の生活や学習の基盤になるということ、そして幼児教育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、幼児期の教育・保育と小学校教育との円滑な接続が求められています。

このことを受けて、今年度の「第1回幼小連携協議会」では、幼児期支援者と小学校の教師が、「幼児期の終わりに育ってほしい姿」を共有して意見交換する場を設けました。



幼稚園・保育園等と小学校が
つながる
合同の研修会
となりました。



【幼児期の終わりに育ってほしい姿】

- ① 健康な心と体
- ② 自立心
- ③ 協同性
- ④ 道徳性と規範意識の芽生え
- ⑤ 社会生活との関わり
- ⑥ 思考力の芽生え
- ⑦ 自然との関わり・生命尊重
- ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ⑨ 言葉による伝え合い
- ⑩ 豊かな感性と表現

(それぞれの詳しい姿については、幼児小連携協議会の資料をご覧ください。)

「幼児期の終わりに育ってほしい姿」を意識した「スタートカリキュラム」を組むことによって、入学した子どもたちが、園等の遊びや生活を通して学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していきます。また、「1年生の担任は、『幼児教育で培われた力を引き出すことが大切だ』と、これまでの指導観が変わり、一人一人をじっくり見て、見通しをもって支援することができるようになる」とも言われています。

ぜひ、公立幼稚園保育園の園内研究会や夏休みに行われる「幼小中連携講座」に参加して、実際の教育・保育を見てください。そして、岐阜県公式ホームページに掲載されている「岐阜県版接続期カリキュラム」を参考に、「スタートカリキュラム」の改善を図ってみませんか。

可児市の1年生の児童が、「仲間と力を合わせると、いろいろなことができるよ。」「やりたいことにチャレンジするぞ。」と、だれもが笑顔で登校する姿を目指していきます。

「みんなで家庭教育！子育ては親育ち」

～子どもの笑顔と幸せをめざして～

子育て支援課 前田 加代子

平成26年12月に岐阜県家庭教育支援条例が公布・施行されました。この条例では、家庭教育に取り組み方々の役割を明確にしたこと、「家庭教育を实践する日」を規定していることが特徴です。子どもの教育については、保護者が第一義的責任を有します。しかし、保護者だけが家庭教育に取り組みののではなく、社会の全ての構成員が、相互に協力しながら一体的に取り組むことが必要です。

可児市では、14地区センターで0歳から3歳までの未就園児をもつ保護者が集う乳幼児学級と、市内15園の幼稚園・保育園と16校の小学校・中学校でそれぞれの園と学校に所属する子の保護者が集う家庭教育学級が開催されています。今年度は約2,850名が学級生として参加し、子育てやつけつけについて学んだり、悩みを交流し合ったりしながら、家庭教育の学びを深めています。

【家庭教育学級 講座の様子】



家庭教育学級は、学級生による自主運営で行われており、学級役員を中心に年間4～10回の講座が開催されています。その内容は、親の役割、子どもの心理、親子のコミュニケーション、食育、人権（いじめ）、進路、性教育、情報モラル、防災など多岐にわたり、子育てに役立つ知識や技術を学んでいます。

Q. 子どもを預けられる人がいますか？

子育ての悩みを相談できる人がいますか？

平成28年度の文部科学省により行われた実態調査では、子どもを預けられる人がいると答えたのは27.8%、自分のまわりに子育ての悩みを相談できる人がいると答えたのは43.8%でした。家族構成が三世代同居から核家族化へと変化する中、ますます子育てに不安を抱えながら子どもと向き合っている保護者が多いことが分かります。

家庭教育学級の講座内で行う「子育てサロン」では、日頃、子育ての中で生じる悩みや不安を、同じ立場の保護者同士で交流し合う時間として大切にしています。

宿題をやらないうちの子、どうしたらいい？

家ではいつも〇〇しなさいと命令口調に・・・

兄弟げんかがひどい。どう対処したら？

反抗期を迎えたわが子への接し方は？

ゲーム・携帯電話に夢中。とても心配・・・。

学校と家とは様子が全く違うが・・・。

このような悩みが学級生から多く聞かれています。「悩んでいたのは自分だけではない。」「もっとこうしたらうまくいくのでは・・・。」「そういった気付きや新たな糸口が、悩みや不安を軽くし、子育てのヒントにつながります。

子育てには正解がなく、日々試行錯誤の連続です。そして、多くの保護者が自分の子育てに不安を抱え、自信がもてないまま子育てをしている現状があります。親の笑顔が子どもの笑顔につながり、子どもの幸せにつながります。家庭教育学級という場を生かし、親同士のつながりだけでなく、学校、地域とのつながりを深めることで、子どもたちを多くの手と心で包み込んでいく「みんな子育て」をこれからも目指していききたいと思います。

転入者の声

「千一ム兼山」の一員として

可児市立兼山小学校 教頭 社本 教恵



新任教頭として緊張の中赴任した私でしたが、兼山小学校の素晴らしさに勇気をもらいながらスタートを切ることができています。

兼山小学校は、全校児童数59名の小規模校です。1学期当初、感心したことがありません。それは、職員が全ての子どもたちをよく知っており、どんな小さなことでも話題にしていることです。アットホームな雰囲気の中で、一人一人を大切にしている学校だと感じました。

特色ある活動に、4年生以上が取り組む金管バンドがあります。児童が演奏する機会には、地域の方が応援に来てくれます。子どもは、地域の方の支え、この両面が相まって美しいハーモニーを奏でていきます。新参者の私ですが、5月には私の自慢の一つとなりました。

金管バンド以外の場でも、地域の方とはとても協力的です。子どもたちを、町の宝として大切に守ってくれています。人と人のつながりを大切にしたい「ふるさと兼山」の環境の中で成長していく子どもたちは幸せです。この学校で生き生きと育っている子どもたち、私は教頭として何ができるかと考えるようになりました。

これからの子どもたちはA Iを取り入れられ、世界の人々を相手にしたりするなど違う環境の中で生きていきます。自分の未来を自分の力で切り拓くことができるよう、子どもたちを育てていかなければなりません。一方で、今の兼山小のように人のつながりやふれあいを愛する心が育つ環境が、心の土台になる事も確かです。

「地域は土の人、教員は風の人」という言葉があるそうです。地域に根ざした「土の人」の心や文化を大切にしながら、「風の人」である私たちが、新たな風を吹かすことができるとき、それは新しい伝統の始まりになります。子どもたち一人一人に、兼山愛と未来を切り拓くたくましさや育めるよう、「千一ム兼山」の一員として頑張っていきたいと思えます。



「千一ム今渡北小学校」の一員となって

可児市立今渡北小学校 教諭 大村 優



4月1日を迎えるまでには、「どんな学校だろう。」「新しい職場での先生とうまくやっつけられるだろうか。」と色々な不安や緊張でいっぱいでした。しかし、第一回の職員会で校長先生は第一声で、『流れに乗れ、そして、流れる水となれ!』と言われました。自分がいつも大切にしていることと同じようなことをお話しされたので、「あれこれと悩んで立ち止まるのではなく、まずは、動いてみよう」と気持ち奮い立たせました。そして、温かく迎えてくれた今渡北小の先生方の優しさや良い学校にしているという情熱を見て、来る前に感じていた不安や緊張は吹き飛びました。そして早く『千一ム今渡北小学校』の一員になるぞと決意しました。

4月からは、道徳教育推進教師を任せられました。道徳は「特別な教科」となり、評価をどうするかなど、様々な問題があります。先生方がわかるように、まず自分が道徳のことについて学びを深めて、授業をどう進めるか、評価をどうしていくのかを職員会などで提案できるようにしていきたいです。そして、前任教で学んだ「個」を大切にすることを生かして「わかった・できた」の喜びが味わえる授業や「居て心地よく安心できる」学級経営をしていきたいと思えます。

また、年齢的には中堅教員ということですが、自分のことだけでなく、若手の先生方の手本となるように、自分を律して職務に全うする姿を見せたり、お互いの悩み事などを気軽に相談し合ったり、アドバイスをしたりできるように、同僚性を高めていきたいと思えます。

誰にも負けない情熱と愛情をもって、『千一ム今渡北小学校』の一員として、学校の教育目標である「豊かな心をもち たくましく生きる子の育成」の実現を目指していきたいと思えます。



ふるさとと可児

「ふるさとと可児」でふるさと教育が充実すると考えます。

■ふ 俯瞰

小学校3年生の社会科で、自分たちの住んでいる市の位置や地形（高さや広がり）を学習します。岐阜県（日本）のどの辺りなのか、一番高いところはどこなのか、どのような形なのか、などです。「俯瞰」（客観視、広い視野、観察眼）がコミュニケーションの土台になると信じます。

■る ルーツ

「可児市のじまんとほこり」（H30.3 可児市）P7に「どうして「カニ」って名前がついたの？」が記載されています。「ルーツ」（自分のまちの元、自分の元）を正しく理解すると、自信や向学心、他者への配慮が高まるのだと信じます。



■さ 茶道

平成30年度、可児市では小学校8校、中学校3校で「茶道体験学習」を行いました。「ふるさとを誇りに思う事業」によって、可児市の児童生徒は小中9年で1回以上は茶道を体験、学習する形になっています。「和敬清寂」「お相伴いたしました」「結構なお服加減で」…。形や礼、美、品を大切に「茶道」によって、グローバル人が育つのだと信じます。



■と 特別

美濃桃山陶、荒川豊蔵、明智光秀、花フェスタ記念公園、山城、古墳、鳩吹山、可児市文化創造センターa1a(アーラ)、木曽川、ヤイリギター、さよりめし、小淵ダム、(大型商業施設) …。

「特別（なこと）」が誇りと愛着（郷土愛）を育むのだと信じます。

・自分のふるさとと可児で、こんなに偉大な歴史的発見があった。荒川豊蔵のことをもつと世の中の人々に知ってもらいたいと思いました。
(中1男)

・今まで知らなかったことを調べたり、話を聞いた。自分たちの新しい魅力が分かったし、愛着も感じるようになりました。(中1女)

■か かかわり

平成30年度全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙の結果（一部）です。（対象：可児市内全公立学校（小6、中3））

・今住んでいる地域の行事に参加していますか
小：79.4% (+16.7) 中：76.6% (+31.0)
・地域の人に勉強やスポーツを教えることがあり、一緒に遊んだりすることがありますか
小：32.7% (+7.2) 中：47.2% (+5.6)

※（ ）は全国平均との比較

「かかわり」で主体性や思いやりの心が育つのだと信じます。

■に 人間

ふるさとは、自然や歴史、文化、そして人（友達、地域の方々、家族など）が存在します。可児市の素敵などは、「俯瞰」ことができ、ルーツを理解し、茶道をたしなみ、特別を実感し、かかわりをもつ人」がたくさんいらっしゃると思



います。「人間」が教育の基だと信じます。

■ふるさとと可児

可児市の子どもは、ふるさとを愛する心を着実に育てています。先生方がそこにいらっしゃるからだと思います。

自分なりの「ふるさとと可児」をもち、学校、地域、家庭、それぞれの場でできることをやってみようと思います。

ALTの紹介

本年度、5名のALTが小学校の外国語活動や中学校の英語で、各学校を訪問しています。5名のALTを紹介します。

Stephen MCQUEEN (ステイブン マックイーン)



Hello!

My name is Stephen, I am from Scotland and I have been in Japan for seven years now. My hobbies are playing bass guitar and practicing *aikido*. Let's have fun with English!

Patricia VESTIL (パトリシヤ ヴェステイル)



Hello!

My name is Patricia VESTIL. I'm from Philippines. I've been living in Japan for 3 years. I love to read books, watch movies and run. I also love Japanese food like *takoyaki* and *sushi*. I hope we enjoy English together.

Esther NJERI (エスター スンジヤリ)



My name is Esther. I've been in Japan for about ten years. I love the Japanese culture. My favorite food is *karaage*. I LOVE KARAGE. I'm looking forward to having fun with you all. Let's have fun together.

Joan Challongen (ジョアン チャロンゲン)



Hello!

My name is Joan, I like Kani City. I like to play sports and to travel. I enjoy eating Japanese food and learning different cultures. Let's have fun with English!

Nimrod MATSUO (ニムロッド マツオ)

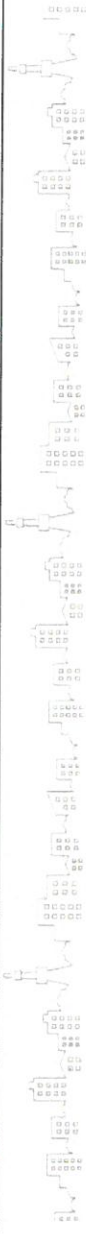


Hello, everyone!

My name is Nimrod Matsuo. Please call me Nimo! I'm from Philippines. My birthday is February 29. I like singing, painting and cooking. I like *sukiyaki*, *natto* and *sushi*. Let's enjoy speaking English!

令和元年度

教育実践論文募集



1 令和元年度実践論文募集

今年度も教育実践論文を募集します。

昭和58年度から始まった教育実践論文の募集も今年度で36回目となります。

日頃、可児市教職員の皆様が子どもの成長を願って、日々共に歩んでいる姿、教育活動の創意工夫を論文にしてみませんか。

多くの積極的な応募をお待ちしております。参考に、昨年度の領域別応募数・入賞者を掲載します。

(1) 平成30年度実践論文応募状況

領域別	数	領域別	数
教科	19	学級経営	3
道徳	2	健康安全	1
特別活動	1	その他	1
特別支援	1	合計	28

(2) 平成30年度実践論文審査結果

職名・所属名は、30年度現在です

☆ 優秀賞 (学番順)

奥村 尚浩	教頭	広見小学校
鈴木 裕也	教諭	桜ヶ丘小学校
(新人賞)		
長谷川 由奈	教諭	今渡北小学校
原 一啓	教諭	今渡北小学校
竹田 浩大	教諭	中部中学校

☆ 優良賞 (学番順)

杉山 翔乙	教諭	土田小学校
前田 康裕	教諭	東明小学校
山本 凌司	教諭	広見小学校
大塚 莉佳	教諭	広見小学校
古賀 菜	教諭	今渡北小学校
長瀬 真綾	養教	兼山小学校
河内 菜摘	教諭	東可児中学校

2 募集要項

(1) 目的

可児市学校教育課題の克服をめざした小学校、中学校の教職員の創意ある実践研究を広く募集し、もって実践意欲の喚起と指導力の向上を図る。

(2) 内容

- ① 小学校、中学校の園児、児童、生徒の指導および管理運営に関する実践研究であるもの
- ② 問題意識が明白で、仮説・実践・検証の過程が具体的にかつ累積的で、一貫性のある実践研究であるもの
- ③ 他の公的機関に発表していないもの
- ③ 執筆要領 (要綱は、次の通りです)

① 使用言語 現代仮名遣いで書かれて日本語

② 使用ソフト ワード、又は一太郎 (様式は岐阜大学教育学部同窓会HPダウンロード可能)

③ 本文の形式 ※下線部分は昨年度より変更

A4版 6ページ (22 字程度×43 行～50 行×2 段 横書き) 余白 上下左右各 2.5 mm程度)

・1 ページ目の冒頭に研究主題・(副主題)・所属・氏名を記載する (46 文字程度×5 行以内×1 段)

・1 ページ目に「概要」(46 文字程度×10 行) を記載する。(入賞者についてはこの「概要」をそのまま論文集に掲載)

④ 写真・図表等の使用

写真は、全6頁で2枚程度 (各写真の大きさは11 文字×5 行以内)

図表等は、全6頁で3点程度 (各図表は判読できる大きさとする。)

写真等は、「写真1」「図2」などのように一連番号を付し、簡単な説明を付ける。

⑤ 参考資料

本編以外の資料は添付しない。

⑥ 参考文献等

参考文献等がある場合は、論文の最後に年代順に一括掲載する。

⑦ その他

写真等は児童生徒が特定されないように留意する。

※詳しくは、「岐阜大学教育学部同窓会HP」参照

(4) 提出先 可児市教育研究所

(5) 提出期限 令和2年1月8日 (水)